

伊集院保健所感染症情報

2025年第32週（令和7年8月4日～令和7年8月10日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiiki/kagoshima/index.html>

定点把握感染症

管内流行発生警報発令中：咽頭結膜熱，水痘，ヘルパンギーナ

定点医療機関【インフルエンザCOVID2，小児科1，基幹定点1，ARI2】

疾患名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息	基準値	第29週	第30週	第31週	第32週	先週からの増減	第31週	前週からの増減
ARI（急性呼吸器感染症）	—	—	—	150.00	124.50	172.00	130.00	↘	66.21	↗
インフルエンザ	30	10	10	0.50	1.00	0.50	0.00	↘	0.09	↘
COVID-19	—	—	—	11.00	11.50	17.50	8.00	↘	12.68	↗
咽頭結膜熱	3	1	—	1.00	5.00	3.00	3.00	→	0.94	↗
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	—	4.00	6.00	3.00	7.00	↗	1.65	↗
感染性胃腸炎	20	12	—	0.00	1.00	1.00	7.00	↗	5.23	↘
水痘	2	1	1	0.00	1.00	3.00	2.00	↘	0.26	↗
手足口病	5	2	—	0.00	1.00	1.00	0.00	↘	0.55	↗
伝染性紅斑	2	1	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	1.26	↗
突発性発しん	—	—	—	0.00	2.00	0.00	0.00	→	0.45	↘
ヘルパンギーナ	6	2	—	7.00	4.00	6.00	2.00	↘	3.32	↗
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	↘
RSウイルス感染症	—	—	—	0.00	0.00	2.00	0.00	↘	1.03	↘
全数報告（カッコ内は本年の累積数）			百日咳4（44）							
※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし， 注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし										

TOPIC

被災した家屋での感染症対策

災害時には、感染症の拡大リスクが高まります。

家屋の清掃で感染症を発生するおそれもあるので、注意しましょう。

浸水した家屋での感染症対策には、以下のことに注意して清掃しましょう。

- ・ドアと窓をあけて、しっかり換気しましょう。
- ・汚泥は取り除き、しっかり乾燥させましょう。
- ・清掃中のケガを予防するために、手袋を着用しましょう。
- ・ほこりを吸い込まないように、マスクを着用しましょう。
- ・清掃が終わったら、しっかりと手洗いを行いましょう。



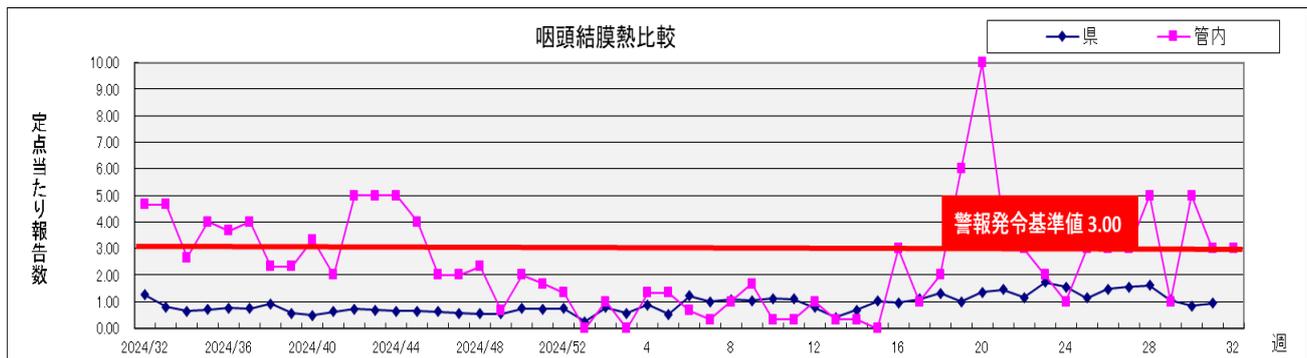
＜浸水した家屋における主な消毒液と使用方法＞

消毒薬	対象と使い方	
	食器類・流し台・浴槽	家具類・床
次亜塩素酸ナトリウム (家庭用塩素系漂白剤でも可)	0.02%に希釈する ① 食器用洗剤と水で洗う。 ② 希釈した消毒液に5分間漬けるか、消毒薬を含ませた布で拭き、その後、水洗い・水拭きする。 ③ よく乾燥させる。	0.1%に希釈する ① 泥などの汚れを洗い流すか、雑巾などで水拭きしてから、十分に乾燥させる。 ② 調整した液を浸した布などでよく拭く。 ③ 金属面や木面など色あせが気になる場所は、水で2度拭きする。
消毒用アルコール	希釈せず、原液のまま使用する ① 洗剤と水で洗う。 ② アルコールを含ませた布で拭く。 ※70%以上のアルコール濃度のものを使用すること ※火気のあるところでは使用しない	希釈せず、原液のまま使用する ① 泥などの汚れを洗い流すか、雑巾などで水拭きしてから、十分に乾燥させる。 ② アルコールを含ませた布で拭く。 ※70%以上のアルコール濃度のものを使用すること ※火気のあるところでは使用しない
10%塩化ベンザルコニウム (逆性石けん)	0.1%に希釈する ① 泥などの汚れを洗い流すか、雑巾などで水拭きしてから、十分に乾燥させる。 ② 調整した液を浸した布などでよく拭く。	0.1%に希釈する ① 泥などの汚れを洗い流すか、雑巾などで水拭きしてから、十分に乾燥させる。 ② 調整した液を浸した布などでよく拭く。

参考：日本環境感染学会 一般家屋における洪水・浸水など水害時の衛生対策と消毒方法

● 注意すべき感染症

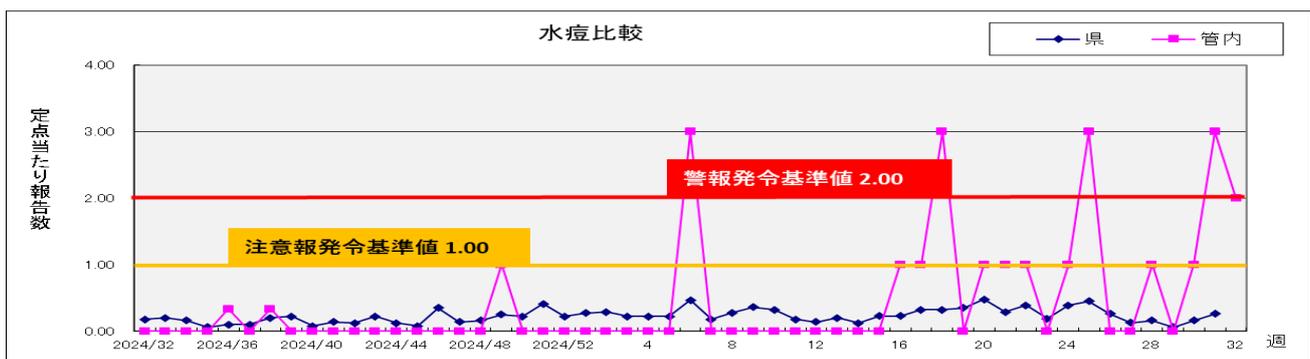
● 咽頭結膜熱（流行警報発令中）



第 32 週の伊集院保健所管内における咽頭結膜熱の報告数は、3 人でした。年齢別では、1 歳（2 人）、4 歳（1 人）でした。

咽頭結膜熱は、小児の急性ウイルス性感染症で、飛沫感染、あるいは手指を介した接触感染で拡大します。感染予防策としては、タオルの共用はせず、感染者と密接な接触を避け、流水と石けんによる手洗い、うがいを励行しましょう。

● 水痘（流行発生警報発令中）



第 32 週の伊集院保健所管内における水痘の報告数は、2 人でした。年齢別では、8 歳（1 人）・10～14 歳（1 人）でした。

水痘とは、いわゆる「みずぼうそう」のことで、これは水痘帯状疱疹ウイルスによって引き起こされる発疹性の病気です。感染から 2 週間程度の潜伏期間を経て発疹が現れます。臨床経過は一般に軽症で、倦怠感、掻痒感、38℃前後の発熱が 2～3 日間続く程度です。典型的な症例では、発疹は紅斑（皮膚の表面が赤くなること）から始まり、水疱（水ぶくれ）を経て痂皮化（かさぶたになること）して治癒します。

感染経路には、空気感染や飛沫感染、水疱の内容物との接触による接触感染などがあり、発疹が出現する 1～2 日前からすべての水疱が痂皮化するまで感染力があります。

予防方法としてはワクチン接種が推奨されています。周囲に患者がいる場合は、患者との接触を避け、手洗いを励行しましょう。

● COVID-19

第 32 週の伊集院保健所管内における新型コロナウイルス感染症の報告数は、前週より減少し、16 人（定点当たり：8 人）でした。新型コロナウイルス感染症の主な症状は、発熱、呼吸器症状（咳、咽頭痛）、頭痛、倦怠感等です。また、下痢、嘔吐、嗅覚・味覚障害をおこす事もあります。

お盆休みで、人に会う機会も多いことから、下記のことには注意して感染対策を実施しましょう。

感染症予防のポイント

- ①咳エチケット（口・鼻を覆う）
 - ②「液体石けん・流水による手洗い」か「手指消毒」
 - ③換気（部屋の換気を定期的に行う）
 - ④集団生活の場では、共用部分の消毒
- 基本的な感染対策ができていないか見直しをしてみましょう。